

WANTED!



穂を吸汁するミナミアオカメムシ

斑点米カメムシ 防除を行いましょう



斑点米

今年は過去10年来 カメムシが多く確認されており、
これから出穂期に入り、
さらなるカメムシの飛来が予想されます

対策

○カメムシは水田周辺の畦畔や土手などのイネ科雑草に生息しますので水田まわりの**畦畔除草**も心がけましょう。

ただし、出穂間際又は出穂後の除草はカメムシを逆に水田に追い込むこととなりますので、**出穂の2週間前までに**除草をしてカメムシの棲みかをなくしましょう。

○畦畔や水田内でカメムシを確認したら、穂揃期(キラップ粒剤は出穂10日前～出穂期)に薬剤防除を実施し、その後も発生が多い場合は7～10日後に追加防除を心がけましょう。

主なカメムシ防除薬剤

平成25年7月10日現在

薬剤名	希釈倍数または10a当りの使用量	収穫前日数	使用回数
キラップ粒剤*1	3kg/10a	14日前	2回以内
キラップフロアブル*1	1000～2000倍	14日前	2回以内
スタークル粒剤*2	3kg/10a	7日前	3回以内
スタークル1キロH粒*2	1kg/10a	7日前	3回以内
スタークル豆つぶ*2	250g/10a	7日前	3回以内

*1 エチプロールを含む農薬の
総使用回数:2回以内
(移植時までの処理は1回以内)

*2 ジノテフランを含む農薬の
総使用回数:4回以内
(育苗箱への処理及び
側条施用は合計1回以内、
本田での散布、空中散布、
無人ヘリ散布は合計3回以内)



カメムシが繁殖するイネ科植物(畦畔)

※農薬の散布にあたっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。